

環境教育「まず、今できることから」

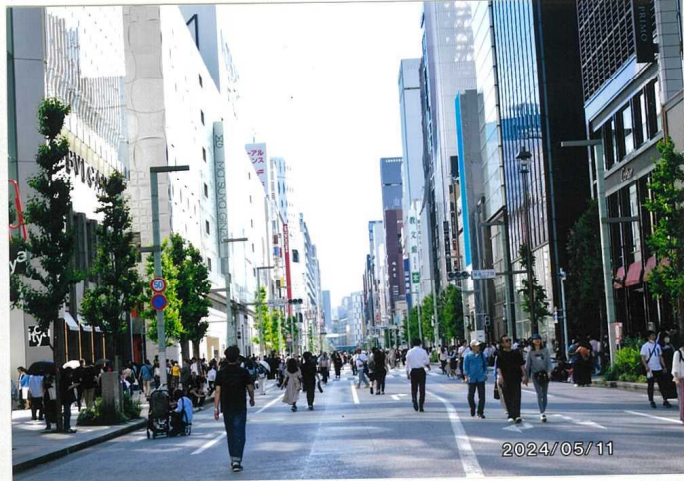
歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



銀座方面から見た日本橋

2024/05/11



日本橋方面から銀座町下目で撮る

2024/05/11

さて明治政府から地券
 (土地の所有権を示す証券)
 用紙の発注が入ったことで、
 民間の製紙会社の経営が
 安定した。また新聞雑誌
 も続々と創刊され、洋紙の
 需要が増えてきた。
 (一九〇三(明治三十六年)年に
 国定教科書制度ができて、
 教科書に洋紙の採用され、
 印刷方法も活版印刷に変わ
 り、洋紙の生産量が知覚を
 超えていきます。)



2024/05/11

なせ王子が選ばれたか。
 当時洋紙の原料は衣服の
 柄口でした。から都市部のほう
 が木口を手に入れたりした。また
 幕末に討過された大砲製造
 所のために、栗鴉から銅用紙
 が引かれていたので、紙より必要
 な水もあつた。さらに王子を
 流れる石神井川は菴馬の川
 まで開削されて、大きい船
 が通行でき、川を過ぎて海まで
 船で物が運べたこと、地域の
 方々が工場建設に協力的だ
 った。王子は日本橋から二里約
 (八キロ)の距離です。かり人が訪
 れて上質な紙ができて

ゆかい場所だ
 った。こり工業
 の工場を多々の
 人に見てもらい
 工業化の気運
 を高め、じつから
 日本中に産業
 を発展させた
 という思いがあ
 りたと思う。

明治初期には国
 内に国の印刷局
 のほか六社の製紙会
 社がつくられますが、和紙に
 加えて当時海外から安産
 品が流入して、和紙の
 地位が低下して

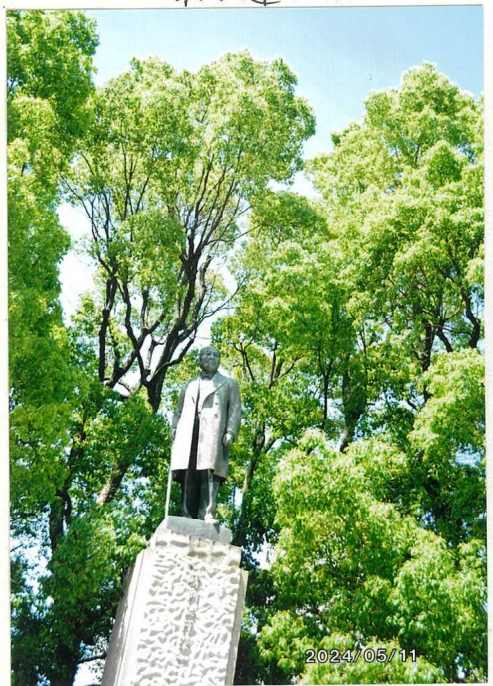


2024/05/11

大衆であつた。渋沢は日本の
 社会を変えよう。民間企業
 五百社の立ち上げに携わって
 そのうち五社が今も残
 っています。電気、水道、ガスな
 どのインフラも先に抄紙会社
 を興している点で紙は何におそ
 も大事なものであつた。

最先端技術が
 結め込まれた
 美しき日本の紙幣。

「この一帯地域は
 20歳から27歳迄の
 ホムケツドナリ」



2024/05/11

日銀前の常盤橋の公園に立つ渋川栄一の像